

KTK いづみ福祉会を 守る会だより

2022. 春 NO.69



☆ワーキングセンター☆
～新成人を祝う会～



いづみ福祉会を愛してください

想定外のことがおこる現代です。どこにいても、どんな状況であっても、等しくすべてのものに襲い掛かってきた新型コロナウイルスによるパンデミック。一昨年春に、日本にも波及したこのコロナ災禍は、私達の生活や考えを一変させました。

高度に発達した医学や科学でも防ぎえなかったコロナ災禍。収束の目途も立たず暗い影を世界中に落としています。日本の国で外国人観光客の増大を見込んで先行投資した人が多くいます。でもこの状況下、不安だけが残り残りました。

当たり前だと思っていたことが当たり前で無くなり、不安をたくさん抱えながらも新しい生活の形を求めて、おそろおそろ動き出しました。が、そのすきを狙うかのように新型コロナウイルスはどんどん形を変えて容赦なく我々にむかってきています。

いづみ福祉会を守る会

会長 林 知子

動きを止められている今、これまでいいと思ってどんどん進めてきた開発に目を向けてみると、自然が破壊されて地球温暖化が進み異常気象をもたらしていることがはっきり見えます。

今この時に何が大事で何が大切かを考えてみると、生きとし生けるものの命を守る。人と人とのつながりを守る。助け合い・譲り合いの心を守る。自然を守る。この守るとするのは愛するということだと思います。

コロナ災禍の中でもいづみ福祉会は力を合わせてよく頑張っています。地域になくはならない存在として、益々どんどん成長していくことができるようにいづみ福祉会を愛してください。いづみ福祉会を守る会を心からお願いいたします。

「いづみ福祉会を守る会」のあゆみを振り返る

「いづみ福祉会を守る会」は発足から30年を迎えました。いづみ共同作業所時代からご支援をいただき、社会福祉法人化に向けての大きなご支援、法人化後も変わらずご支援をいただいています。発足30年にあたり、そのあゆみを振り返りてみたいと思います。



昭和63年9月16日、いづみ共同作業所は現光寺で開所式を行いました。当時の賃貸料は月5,000円。しかも、全額町村負担で作業所自体の負担はありませんでした。

しかし、平成2年12月に里区の新しい建物への移転の際には、新たに土地の借用料が月16万円かかることになり、運営上の課題になりました。その課題に大きな力を貸していただいたのが「いづみ共同作業所を守る会」でした。当時の加茂町社会福祉協議会の会長さんと事務局長さんが中心になって、関係機関や地域の方々に「共同作業所の安定した運営に協力してほしい」と声をかけていただき、翌年6月には早くも「いづみ共同作業所を守る会」の発足式を開催することができました。

当初は共同作業所の運営そのものに対する財政的な支援が中心でしたが、職員の研修費や行事に対する助成もお願いし、公的な援助が少なかった作業所に様々なご協力をいただきました。また、2002年の法人施設の設立に向けての自己資金にも、多額のご寄付をいただきました。



いづみ共同作業所…現光寺時代



いづみ共同作業所…里時代



現在のいづみ福祉会…観音寺本館

法人設立の際には「共同作業所を守る会」の役割は終わったのではないかと議論も守る会役員会ではありました。しかし、「無認可作業所の課題は解決をしたが、この地域の障害者福祉の課題が解決したわけではない。地域の障害者福祉の中核を担う責任があるいづみ福祉会の活動を今後も継続して支えるべきではないか。また、『守る会たより』を通じて地域の方々にいづみの実践を伝えることも重要ではないか」という結論に至り、それ以来20年にわたり支援費・運営費では購入できない物品の購入や建物の改修費などに対してご協力をいただいています。

いづみ福祉会は2022年で、法人設立20周年(無認可作業所からは34年目)を迎えます。守る会は、ちょうど30周年です。ご協力いただいた財政援助は2,000万円を超える額となりました。ご協力いただいた方々には感謝以外ありません。

いづみ福祉会は、今後も地域の障害のある方々やご家族に、「生きることのすばらしさ」を届ける責任を果たす努力を重ねていきます。しかし、法人の役職員だけでその責任は果たすことは困難です。幅広い地域の方々のご理解とご協力が不可欠です。この30年間のご支援に心から感謝を申し上げ、これからの30年にも変わらぬご支援をお願いして、30年間のお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

社会福祉法人 いづみ福祉会 事業部長 須河 浩一



いづみ福祉会を守る会発足後からの 会費収入といづみ福祉会への支援額

- 会費収入等の総額 ￥21,130,798
- 寄付金・物品寄贈の総額 ￥14,469,898

その他…会報の発行や会の運営費として、活用させていただいております。

◆ 現在の事業内容 ◆

- ① 年4回の会報の発行
- ② いづみ福祉会に対する財政的支援

・・・現在では、いづみ福祉会の活動を多くの方に知っていただき、障害福祉の理解向上にむけた広報活動を主たる事業としています。

寄付金と物品寄贈の内訳

年	内容	金額
平成 3年～11年	土地の賃貸料の一部負担	￥3,240,000
平成 13年	法人設立のための寄付金	￥2,316,584
平成 16年	乗用車寄贈、手洗い場工事負担	￥800,000
平成 18年	乗用車・モルダー（製パン機械）寄贈	￥1,569,963
平成 20年	児童デイサービス 建物建設への寄付	￥1,169,000
平成 22年	第二いづみ荘 建物建設への寄付	￥1,000,000
平成 26年	第一いづみ荘 建物建設への寄付	￥1,000,000
平成 29年	発達検査キット寄贈	￥184,280
平成 30年	30周年記念誌作成への寄付	￥1,000,000
令和 2年	相談支援センター 相談室改装工事への寄付	￥500,000
令和 3年	手すきはがき 転圧機購入への寄付	￥500,000



第一
いづみ荘



パンを丸める
機械です！
モルダー
（製パン機械）



相談支援
センター
相談室



守る会への思い

いづみ家族会 会長 来住 育子

次女が赤ちゃんのころ、加茂町にも障がい者の作業所が出来たみたいよと、次女と同じ障がい児のお母さんから聞きました。その時、暗く遠い道の先に小さな灯りが見えたような気がして、ほっとしたことを今も覚えています。それから早いもので30年以上立ち、次女もワーキングセンターにお世話になり、16年目を迎えます。

いづみ福祉会を守る会は、前身のいづみ共同作業所が開設される時に、借地、借家料を支援するために発足されたと聞いています。守る会を通して地域の方々に支えられ、今のいづみ福祉会に繋がっていることを思うと、本当に感謝しかありません。

守る会の先輩方やいづみ福祉会の職員の皆さんの地道な努力と、地域の方々の温かい思いを、家族会会員の私たちも引継ぎ、守る会への支援の輪を広げていきたいと思っております。

コロナ禍に
対策をきちんとして…

人権擁護研修会を開催しました！



< 職員の声 >

研修後のアンケートより…

- ・ご利用者の思いにいつも立ち返って、支援をしていく大切さを改めて感じました。
- ・ご利用者との信頼関係を大切にしたいと改めて感じました。
- ・自分自身のクセや傾向について、他の職員と話すことで、改めて考えることができました。
- ・振り返りを行なうことで、疑問を持って考え直すことができました。
- ・自分と同じような悩みを他の職員も持っているのだと知り、少しほっとしました。
- ・事業所単位の研修で、改めてみんなで考えることができる職場なんだと気づきました。

以前は法人全職員が集まって年2回の研修を実施していましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染予防のため事業所ごとに日程を設定し、人権擁護研修会を開催しました。研修のテーマは「支援の振り返り～気になる考え方について～」ということで、障害福祉の仕事に関わる私たちの支援を専門性の観点から振り返る機会としました。

研修当日は、施設長が課題となる事象や場面を抽出し、職員の皆さんに考え方の再点検をお願いする話をしたのち、グループワークの時間をとり、職員間での意見交換を実施しました。日頃、一緒に支援を行なう職員同士で、日頃は話せない思いや悩みを交流する貴重な機会となりました。コロナ禍となり、大人数での研修の実施も難しい現状でしたが、学ぶこと、他の人の話を聞き新たな視点を得ることの大切さを改めて感じました。（土井）



コロナ禍での取り組み～クリスマス月間

地域活動支援センターからの報告



3密を避けるために大勢で集まって食事をしたりワイワイ賑やかに過ごしたりするプログラムの中断が続くなか、クリスマスだけは、何かみんなで楽しめること、分かち合えることができるか？というご利用者からの声が上がリ、話し合いをした結果、12月1日から24日まで「クリスマス月間」という取り組みを行うことが決まりました。

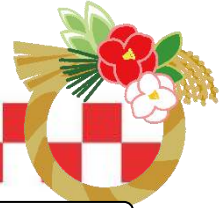
「クリスマス月間」では、①昼休憩中にクリスマスの音楽をかける、②塗り絵やツリーでサロンを飾る、③自分の希望や他の方々へのエールを書き込んだカードを貼り付ける…を行い、気持ちの交流を図ることになりました。みなさんからは「みんなが希望・エールのカードを書いてくれるか心配だったけれど、こんなにたくさん書いてくれた。」「コロナの流行が長くてうんざり。でも、クリスマスの雰囲気味わえて久々にリフレッシュできた。」「みんな、こんな希望を持ってるのかと分かって、何だか新鮮な気持ちになった。」といったご感想をいただきました。このようなご時世だからこそ、できる範囲で小さな楽しみや喜びを見つける大切さを感じさせられたクリスマス月間でした。（神田）



[希望・エールの
カード貼り付け]

児童デイサービス
恒例の

手づくりしめ縄づくり



児童デイサービスでは、毎年恒例の「しめ縄作り」に取り組みました。

冬休み前からコツコツと飾りの作成や、今年の干支である「寅」を筆で書いて準備を進めてきました。中には阪神タイガースのマークを記入した児童もおられたりと、楽しみながらの準備となりました。

完成したしめ縄は法人内の地域活動センター、グループホーム、ワーキングセンターだけでなく、地域交流として加茂支所、加茂図書館にもお届けしました。「ありがとう」という言葉をかけていただいたり、実際に飾っていただいたしめ縄を見ることで児童の喜びにもなりました！（辻井）

みんなで記念写真！



グループホームの
皆様へ、みんなで
お届けしました！



可愛らしく完成☆

インフォメーション

ワーキングセンターより…

クラフト班

◆ イベント 『奈良町物語館 販売会』



☆ 草木染のショールや手織りのかばんなど…
やさしい色合いの商品がそろっています。

◇時間 [平日] 11時～15時

[土日祝] 10時～16時

◇場所 奈良町物語館

開催の日程については、随時、こちらのInstagramで紹介中！

クラフト班・Instagram

イベント、販売告知、販売会に向けての作製中の様子などを投稿しています。皆様のフォローといいね！をお待ちしています。



パン班



3月、4月限定の
「もちり いちご食パン」
ミニ食パン ハーフサイズ
290円(税込)

パン班・Instagram
フォローをお願いします！



IDUMI_FLEUVE

QRコードでも読み
込んでいただけます！



会費納入ありがとうございました！！



2021年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。

個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

（2021年12月11日～2022年2月15日受付分）

青山 信一	阿部 洋子	井上 テルノ	岩城 勝憲	大倉 博	新谷 進弘
大槻 政美	大槻 伸	金辻 信弘	金辻 佳子	鈴木 久代	竹中 和子
西山 幸千子	福岡 節子	船越 吉一	村上 太胤	山内 康司	横井 ゆき子
浜井 昭子	魚島 和子	…会費は法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。			

※ 12月に加茂の社会福祉協議会に会費をお持ちいただいた方を探しています。

現在、お名前が分からない状態となっております。

*郵便局から情報が届くまでに時間がかかり、この期間にお振込みをいただいたにもかかわらず、お名前を掲載できていない方がおられる可能性があります。ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

ご寄付ありがとうございました。

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2021年12月11日～2021年2月15日受付分）

お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

馬場 正彦様	村上 智乃様	小出 耕資様	金 辻様	山岸 裕様	土 阪様
上田 雅彦様	岡本 優仁様	北 森様	青山まり子様	大倉 博様	和東町社協様
中井 直子様	河口 京女様	井澤農園 様	田山南部共同製茶工場様		

現金、高圧洗浄機、ミシン、消毒用アルコール、ポット、お茶碗、湯呑み、お椀、マグカップ、食器、スポンジ、コピー用紙、パズル、お茶、りんご、りんごジュース、バナナ、水菜、人参、サニーレタス、経口補水液

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。また、ご家庭に不用品な タオル、ご飯茶わん、電気ポット、掃除機、洗濯洗剤、マグカップ、お湯呑み、雑巾、大きなプランター、フードプロセッサ、加湿器、パズル、ミキサー、子ども用自転車がありましたら、よろしくお願ひします。

※衣類・食器につきましては、たくさんのご支援をいただき、受付を終了させていただきます。

編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL : 0774-66-4114 FAX : 0774-76-0070

URL : <http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

◀ 編集委員 ▶

ボランティア団体：西嶋 いづみ家族会：来住
法人職員：丸岡伸、大久保、神田、辻井、土井